

2014年10月16日

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル

KNOWLEDGE CAPITAL



グランフロント大阪 知的創造拠点「ナレッジキャピタル」
フランス・リヨン市との継続的な関係性構築から生まれたプロジェクト
『ナレッジキャピタルが、日本と欧州の国際共同研究の舞台に』

このたび、一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原秀夫)は、ナレッジキャピタルに参画している独立行政法人情報通信研究機構(NICT、理事長:坂内正夫)(※1)の研究開発において、ナレッジキャピタルを研究の中核拠点とした、日本と欧州の共同研究の受託者に採択されたことをお知らせいたします。

NICT は、新世代ネットワークの早期実現に向けて研究開発を深化させるため、欧州委員会(※2)と共同で研究開発の提案を募集し、昨年より研究開発を実施しています。その第2弾の研究開発「新世代ネットワークの実現にむけた欧州との連携による共同研究開発および実証」(※3)として、欧州委員会が本年より始めた新たな研究開発プログラム(※4)と連携して、将来のインターネット分野における新世代ネットワークの研究開発を行います。総務省所管のNICTより委託を受けた日本の研究機関(※5)と、欧州委員会より委託を受けた欧州の研究機関(※6)による国際共同プロジェクトで、将来のスマートシティ構想の実現につながる研究です。

ナレッジキャピタルが本研究の拠点に採択された経緯は、ナレッジキャピタルの開業以前より交流を深めてきた欧州側のフランス共和国リヨン市からの働きかけがきっかけとなりました。リヨン市には、ナレッジキャピタルより過去2回視察団を派遣し、2013年7月にはリヨン市長を筆頭とする視察団の受け入れを行うなど、関係性を構築してまいりました。

リヨン市長は、市内の再開発計画にナレッジキャピタルと類似コンセプトをもつ「リビングラボ」の設置を検討しており、世界で類を見ない先行事例としてナレッジキャピタルを視察し、以降もさまざまな意見交換を行っています。

ナレッジキャピタルが国際共同研究の舞台になることは開業以来初の取り組みであり、ナレッジキャピタルが本研究の中核拠点となることで、欧州と日本の研究機関の新たな関係性を構築し、日欧の「技術」と「感性」の融合により、新たな価値の創出が可能になると考えております。また、ナレッジキャピタルのミッションの一つである「国際交流」の観点からも、今後さらにヨーロッパやアジア各国との連携を深めたいと考えております。

本研究の詳細内容については、改めてお知らせいたします。

以上

※1 独立行政法人情報通信研究機構(NICT): 情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関として、豊かで安心・安全な社会の実現や我が国の経済成長の原動力である情報通信技術(ICT)の研究開発を推進するとともに、情報通信事業の振興業務を実施している。(NICT: <http://www.nict.go.jp/about/index.html>)

※2 欧州委員会: 欧州連合(EU)の行政執行機関。欧州連合の28の加盟国から1人ずつ任命される委員で構成されている。条約の特定の条項を施行するための規則を発令し、EUの活動に割り当てられた予算の歳出を管理する。

※3、4 本研究の詳細:

※3 本研究課題の公募開始に関する詳細について(<http://www.nict.go.jp/press/2014/01/07-1.html>)

※4 欧州委員会の研究開発プログラムの詳細について(<http://ec.europa.eu/programmes/horizon2020/>)

<国際共同研究の概要>

詳細は、NICT ホームページをご覧ください

URL: http://www.nict.go.jp/int_affairs/index.html

「新世代ネットワークの実現に向けた欧州との連携による共同研究開発および実証」

研究期間:平成 26 年 10 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日までの 3 年間

参加団体:

※5<日本の研究機関>

国立大学法人大阪大学を代表研究者とするプロジェクトチーム。

詳細は、NICT プレスリリースをご覧ください。

URL: <http://www.nict.go.jp/press/2014/10/16-1.html>

※6<欧州の研究機関>

[Coordinator] Commissariat à l' énergie atomique et aux énergies alternatives(フランス)
Universidad de Cantabria(スペイン)、Engineering Ingegneria Informatica SpA(イタリア)、
Easy Global Market(フランス)、Inno TSD(フランス)、Ayuntamiento de Santander(スペイン)、
Sopra(フランス)